

J-BIM 施工図 CAD 2018 の新機能

RC 躯体図	
水平面、自由鉛直面、自由押出形状の入力に対応	1
段差表示に二段タイプ、立上りタイプを追加	2
梁スリーブ連携ファイルの読み込みに対応	2
部分フカシがある梁の寸法表示位置を改良	2
部分フカシがある梁記号で、座標方向順に全幅せいを表示するタイプを追加	2
配置済み記号の個別再設定に対応	3
記号マスタ	
梁の記号でフカシを含めたハンチ全幅せいの表示に対応、スラブ、梁の記号で断熱厚を除く全コンクリート厚の表示に対応	3

共通・汎用	
通り芯の線種に「点線」を追加	4
連続線に等間隔で補助点を入力する機能を追加	4
引き出し線のトラッカー移動・変形に対応	4
「部品選択」ダイアログに検索機能を追加	4
連続複線で端部を閉じた表現に対応	5
矩形入力で片側だけの対角線表現に対応	5
図面印刷のグリッド間隔設定に対応	5

RC 躯体図

自由図形の入力に対応

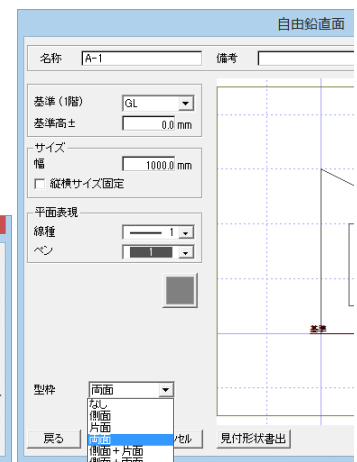
水平面、自由鉛直面、自由押出形状の入力に対応しました。部材形状で対応していない特殊な形状も作成できるようになり、より実情に近い躯体モデルでの3D表現が可能となります。

これらは、RC 躯体積算にてコンクリート、型枠の積算も可能です（鉄筋は対象外）。

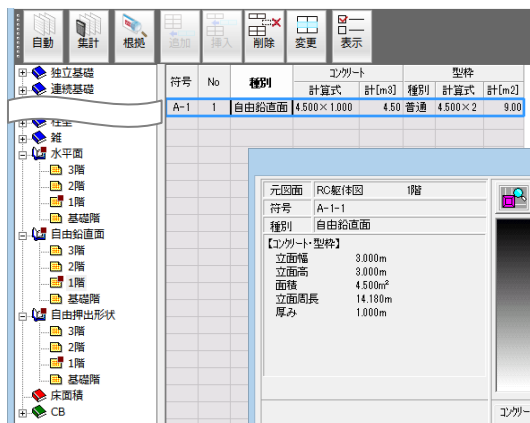
※ 型枠については、ダイアログの「型枠」から積算方法を選びます。



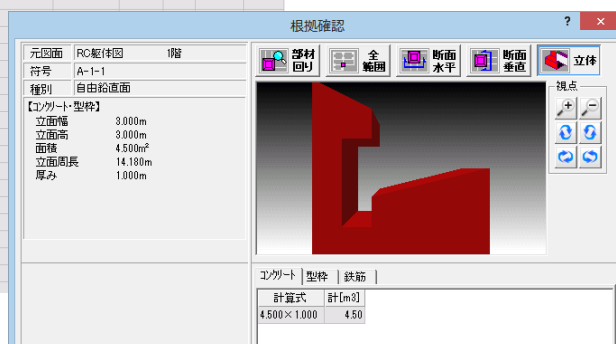
【水平面】



【自由鉛直面・自由押出形状】

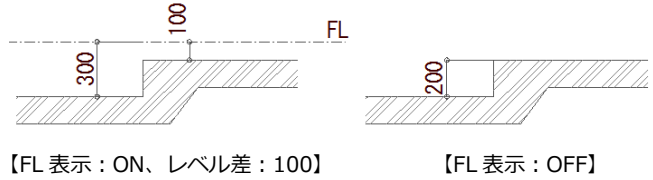
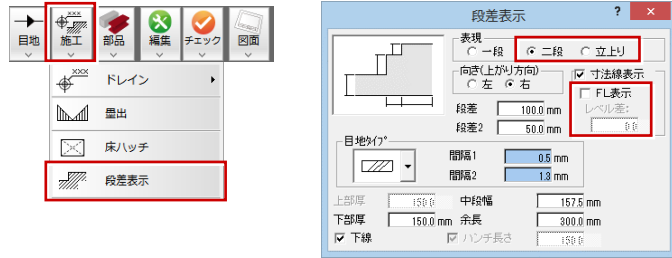
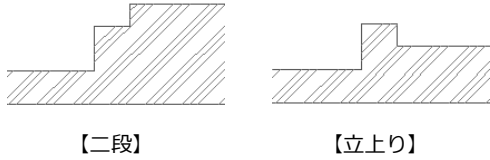


【RC 躯体積算】



段差シンボルの拡張

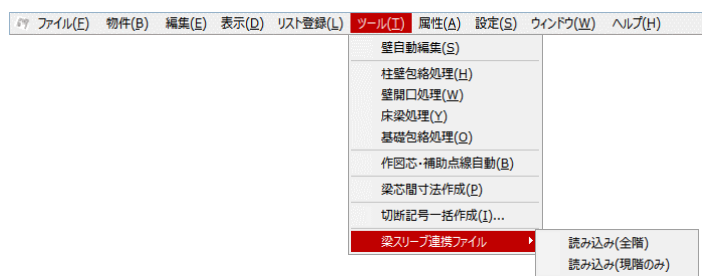
二段タイプ、立上りタイプを追加しました。
また、寸法線表示に FL からの寸法を表記するタイプを追加しました。
多様な表現が可能です。



梁スリーブ連携ファイル読み込み

設備専用 CAD で出力した梁スリーブ連携ファイルを読み込めるように対応しました。
スリーブの入力や位置確認が容易になり、事前の干渉チェックや補強対策をスムーズに行なうことができます。

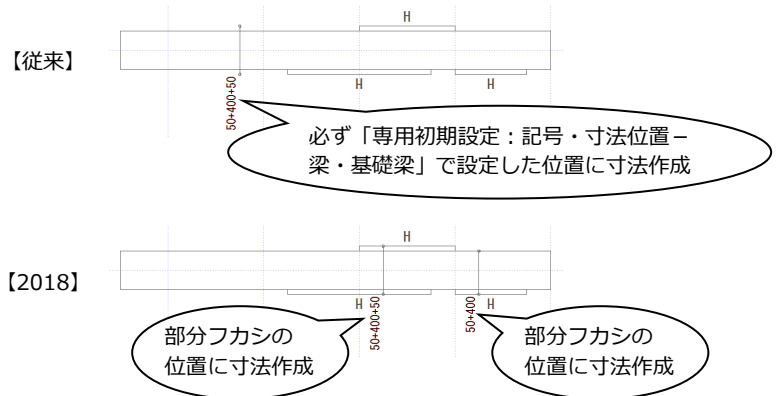
※ 鉄骨梁は対象外です。



フカシ位置の寸法表記を改良

部分フカシがある梁に寸法作成すると、従来は部分フカシのない位置に寸法表示される場合がありますでしたが、部分フカシの位置に表示されるように対応しました。

また、梁にフカシを複数入力したとき、それぞれの場所に寸法を作成するようにしました。
寸法表記位置の編集手間が省けます。

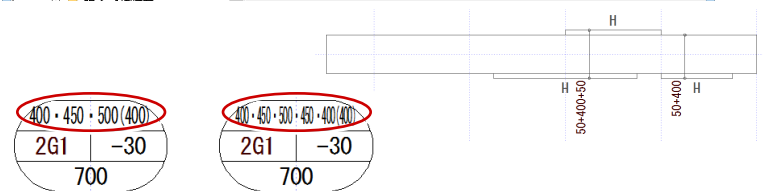
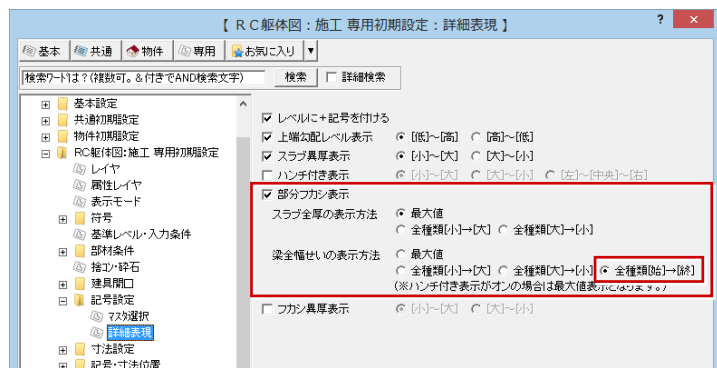


部分フカシの記号表記を改良

部分フカシがある場合の記号の表示を、スラブと梁で別の設定にできるようにしました。

また、梁の場合は、座標方向順に全幅・全せいを表示する設定を追加しました。

記号の編集手間が省けます。



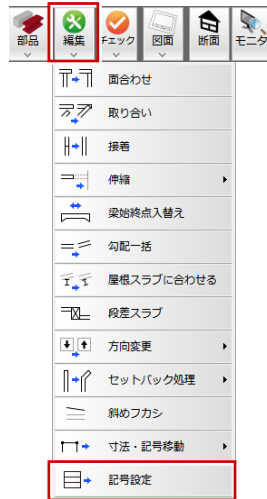
【全種類 [小]→[大]】 【全種類 [始]→[終]】

記号の個別設定に対応

配置済みの記号を、個別に他のタイプや表現に再設定するコマンドを追加しました。

同じ部材でも、ハンチの有無やフカシの状況で記号を使い分ける場合に、個別に記号属性を変更できます。

再作成時にも記号タイプが保持されます。



記号マスタ

記号項目の追加

基礎梁、RC 梁の記号項目に「ハンチ全コン幅」「ハンチ全コンせい」を追加しました。フカシを含めたハンチ幅せいを記号に表示できます。

また、基礎梁の記号項目に「全コン幅」、RC 梁に「全コン幅」「全コンせい」、土間に「全コン厚」を追加しました。断熱厚を除く全コンクリート厚を記号に表示できます。

項目設定：基礎梁

記号	項目名	サツル
A	構造天端レベル	0
B	ソ天レベル	0
C	構造幅	400
D	上フカシ	0
E	右フカシ	0
F	左断熱厚	0
G	右断熱厚	0
H	構造せい	700
I	上フカシ	0
J	下フカシ	0
K	全幅(構造幅+フカシ+断熱厚)	400
L	全せい(構造せい+フカシ)	0
M	ハチ長	0
N	ハチ幅(端部)	0
O	ハチせい(端部)	0
P	全フカシ(構造幅+フカシ)	0
Q	全せい(構造せい+フカシ)	0
R	ハチ全フカシ(構造幅+フカシ)	0
R	ハチ全せい(構造せい+フカシ)	0

設定項目

名称	内容(数値は記号の前に)	イメージ
1	ソ天(構造天) #B(*A)	±0
2	全幅(構造幅) #K(*C)	(400)
3	全せい(構造せい) #L(*H)	(700)
4		
5		
6		
7		

追加した項目

【基礎部材 - 基礎梁】

項目設定：RC 梁

記号	項目名	サツル
D	左フカシ	0
E	右フカシ	0
F	左断熱厚	0
G	右断熱厚	0
H	構造せい	700
I	上フカシ	0
J	下フカシ	0
K	下断熱厚	0
L	全幅(構造幅+フカシ+断熱厚)	0
M	全せい(構造せい+フカシ+断熱厚)	0
N	ハチ長	0
O	ハチ幅(端部)	0
P	ハチせい(端部)	0
Q	全フカシ(構造幅+フカシ)	0
R	全せい(構造せい+フカシ)	0
S	ハチ全フカシ(構造幅+フカシ)	0
T	ハチ全せい(構造せい+フカシ)	0

設定項目

名称	内容(数値は記号の前に)	イメージ
1	ソ天(構造天) #B(*A)	±0
2	全幅(構造幅) #K(*C)	(400)
3	全せい(構造せい) #L(*H)	(700)
4		
5		
6		
7		

【RC 部材 - RC 梁】

項目設定：土間

記号	項目名	サツル
A	構造天端レベル	0
B	ソ天レベル	0
C	構造厚	150
D	上フカシ	0
E	全厚(構造厚+フカシ+断熱厚)	0
F	下フカシ	0
G	下断熱厚	0
H	全フカシ(構造厚+フカシ)	0

設定項目

名称	内容	イメージ
1	ソ天(構造天) #B(*A)	±0
2	全厚(構造厚) #E(*C)	(150)
3		
4		

数値表示: 記号の前に*を付加

【RC 部材 - 土間】

項目設定：床

記号	項目名	サツル
A	構造天端レベル	0
B	ソ天レベル	0
C	構造厚	150
D	上フカシ	20
E	下フカシ	20
F	下断熱厚	20
G	全厚(構造厚+フカシ+断熱厚)	210
H	全フカシ(構造厚+フカシ)	0

設定項目

名称	内容	イメージ
1	ソ天(構造天) #B(*A)	±0
2	全厚(構造厚) #G(*C)	(210/150)
3		
4		

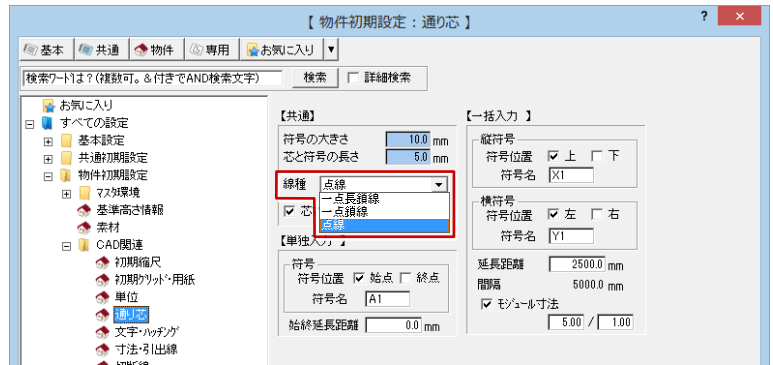
数値表示: 記号の前に*を付加

【RC 部材 - 床】

共通・汎用

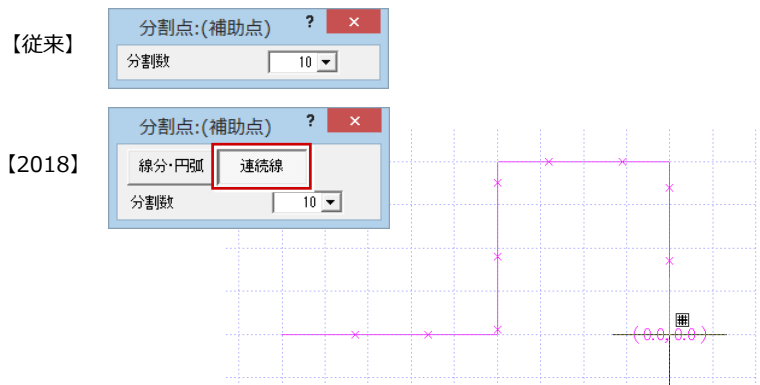
通り芯の線種に「点線」を追加

通り芯の線種に「点線」を追加しました。
通り芯を目立たないようにしたい場合に、「点線」を選択して入力します。



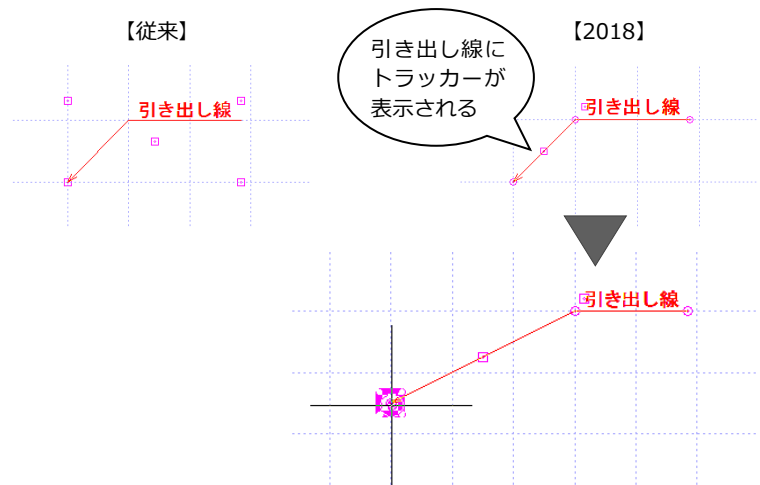
連続線に等間隔で補助点入力

連続線を等間隔に分割した位置に、補助点を入力する機能を追加しました。
連続線に等間隔の補助点を簡単に入力できるようになります。



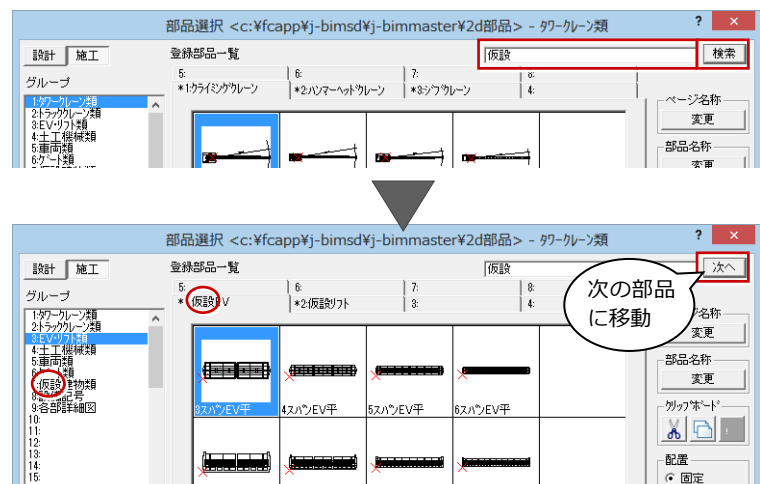
引き出し線のトラッカー変形

引き出し線を選択したときに、一部のトラッカーを移動して変形できるように対応しました。
引き出し線を入力した後の編集が容易になります。



部品選択ダイアログに検索機能

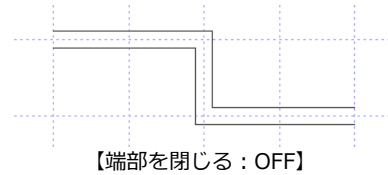
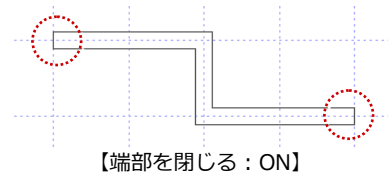
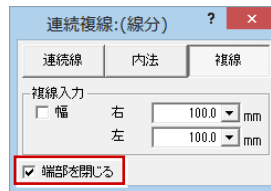
2D 部品を配置するときの選択ダイアログに検索機能を追加しました。
入力した検索ワードが、グループ、ページ (タブ)、名称、備考のいずれかと一致する部品が選択され、目的の部品をすばやく探し出すことができます。



複線タイプの連続線を拡張

連続複線で端部を閉じた表現ができるように対応しました。入力時に「端部を閉じる」を ON にすると、端部の線分同士が接続して閉じた表現になります。

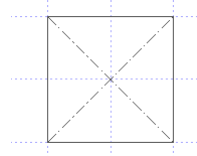
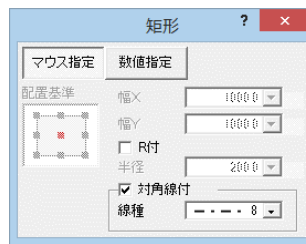
簡単に連続線領域を描けるようになります。



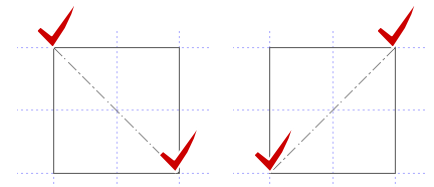
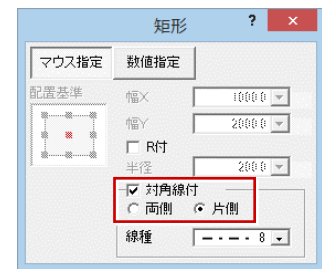
矩形の片側対角線に対応

矩形を描くときの設定ダイアログに、「対角線付」の「両側」「片側」の選択を追加しました。「片側」を選ぶと、片方向だけの対角線付き矩形を描くことができます。対角線の向きは矩形の入力方向で調整してください。

【従来】



【2018】



図面印刷のグリッド間隔設定

図面印刷 CAD 画面のグリッド設定を追加しました。

新規に図面印刷用紙を開いたときのグリッド間隔の初期値になります。910 モジュールなら、図面印刷のグリッドを 9.1 mm に設定できるので図面の配置、移動がしやすくなります。

